

刊夕 日五十月九



日刊價シ日曜日翌
日休月一ヶ月廿五
郵税十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢
場所指定 二十錢増
發行所
牛谷政喜
新島縣平市大町二三
新いき新聞社

常識講座

ア・ブリーオンは先天的
または先天的、経験に
基かざる云ふ意であ
る、これに對し経験に
もつづけると云ふもの
にア・ポストリオルの
語がある、これは経験
に基づく後天的の謂だ

三郎 同大谷榮造 同高階
三郎 同櫻村三男吉 同折
笠左重 同和田久次 同高
橋八太郎 同伊藤爲助 同
戸田羊八 同添田喜雄 同
佐藤末男 同井上忠 同金
澤はつ 同權龍植 同鈴木
増雄 同吉田菊治 同柴野
房太郎 同田中芳太郎 同
草野金治郎 同渡邊長重郎
同神永榮 同宮島太吉 同
鈴木喜一郎 同小澤仁助
加藤興四郎 同小津仁助
同猪狩忠喜 同赤津英雄
同矢野庄吉 同五十錢つゝ
高梨菊次郎 佐藤あきよ
今田米吉 同金成義勝 同
源七 同馬場増太郎 同吹昇
次郎 同大輪喜代三 同寒風澤
國治 同志賀忠勝 同谷地大次
郎 同猪狩又吉 同七十錢島居
金太郎 同三十錢川島佐内
二十錢森山由己(以上)

二十日通過する選挙會に立會
したる立會人から三名の立會
人をして補充決定の選挙會
を開き右多田井氏の補充を決
定する豫定の如くである

片倉製糸で
二百五十圓
平市軍事後援會へ
平市の片倉製糸會社では
同市軍事後援會に對する寄附
を今井所長から本社に伺ひを
立て、わたが金二百五十圓を
承認されて十五日同會長宛
採納願と共に即納した

強化統一の
産業調査
石城では飯野村
農村に於ける實行組合の強化
統一のため農林省及び帝國農
會の手による産業調査は來る
十八日石城郡では飯野村一ヶ
村を指定され日前記兩所か
ら係員出張調査を行はれると
なり

度量衡の検査
平市の度量衡検査は來る三十
日舊平野村役場に於て同方面
を、十月一日から三日に至る

小名濱町の硫安工場
愈よ急テンボの体制

行悩んでゐた地上物件移轉
町の保障で解決の曙光

小名濱町の元製鹽所跡を以て
同地附近一帯に六萬坪の敷地
を求めた日本曹達が姉妹會社
たる九州曹達の事業を延ばす
硫安工場の建設は用地買収が
済んで建築諸材料の搬入から
事務所及び倉庫の建築を進め
つゝ折衝中である地上物件の
移轉問題は大部分歸工場を有
つ三代義勝氏外十餘名との間
に移轉費關係で退去側が要求
する其れに對し會社側では最
高限度七割の支出を堅持し共
に相譲らざるため町の發展を
意圖して誘致したる同町では
此の程の急務町會に於て前記

平の助役及収入役
市長推薦通り決定

傳へられた様な悶着もなく
昨日の本會議無事閉會

昨十四日の平市會は特別戸數
削減の賦課を昨紙所報の委員會
修正案を可決確定の後去る十
日の招集第一日に於て保留さ
れてゐた助役伊藤秀吉、收入
役西野源次郎兩氏の推薦承認
が現市會の趨勢に慎重を考慮
を拂はれたものであらう當日
まで其の人を嚴秘に附した助
役の推薦に對し感情的な反對
を唱ふるものもあつたが人選

軍事後援會の寄附
受納既に三千五十三圓

平市軍事後援會が一萬餘圓の
資金造成を畫する市内各區の
刺當て寄附が溢るゝ市民の赤
成に非常な迅速さで集まりつ
ゝあるは昨紙にも報じたが昨
十四日までの受納額は三千五
十三圓に達した各區刺當ての
義金者を上ぐれば左記の如く
である

▲大工町方面十圓鈴木甚藏
九圓多田井美次郎 八圓石
井重太郎 七圓五十錢榮澤
長賢 四圓五十錢石澤茂同
渡邊登吉 三圓五十錢柴田
與之助▲舊城跡方面百五十
圓青沼錦太郎 金十圓型田
敷次 同馬目順 十二圓五十
錢齋藤隆郎 十圓中村敏
十二圓中村貫一 六圓五十
錢正木貞二郎 同關口緞
同藤井達人 同櫻井久次
七圓加藤正保 六圓近藤廣
記 同仲村辰四郎 七圓松
本一郎 五圓五十錢千葉右
近 五圓五十錢榮徳 同橋
本芳太郎 同高屋俊造 同
柳澤保 同松浦昌 同三村
直次 同山崎吉吉 同青山
勳 六圓淺水成吉郎 五圓
五十錢 比佐國水 四圓阿
部龍三郎 同大平義一 石井
四郎治 同赤羽清 同渡邊
恒夫 同永島喜徳太 同服

部甲 同鈴木利平 同田中
金三郎 同梅森榮 同淡路
辰五郎 五圓皆川篤平 同
牛崎久吉 三圓五十錢榮光
彌 同山崎富次郎 同村上
直鶴 同藤原吉五郎 同千
葉清三郎 三圓三十錢玉手
利藏 三圓二十錢木村忠介
三圓小川親義 同大澤勝吉
同鈴木留藏 同中山毅雄
同片寄藤平 同鈴木光逸
同柴田勝市 同青木錦吉
同本原祐英 同野木新一
同田中宗雄 同内村理二
四圓五十錢鈴木寛 同穴井重
喜 同菊地胤治 同原原新
吉 同木田宗秋 同鈴木熊
藏 同鈴木兼好 同大和田
豊 同上野鐵之助 同小山
軍之助 同鈴木廣成 同山
口彌一郎 同猪狩寛治 同
新田繁 同野田好一 二圓
新妻善吉 同新妻唯祐 同
今井常藏 同横山清三郎
同松本金藏 同黒澤彌▲北
目方面三圓鈴木富雄 同東
北化學工場 二圓石川徳太
郎 同加藤一三 同小谷野
衛政 同小谷野眞吾 同折
笠鬼子太郎 同赤羽鐵太郎
一圓五十錢永井吉之助 一
圓一野瀬森之助 同大谷藤
作 同鈴木久二 同渡邊直

平市議補充の
選挙會
浮び上る多田井氏
平市では市會議員根本品藏氏
の死亡による缺員を次點者か
ら補充の旨で去る七月の選挙
に當選者の最少點酒井清氏よ
り一點を劣る八十四點で落選
した多田井美次郎氏が當然と
の空席を充たされる譯である
が近くこれが告示をなし來る

慰問袋五個
山崎活版所から
平市二丁目山崎活版所では皇
軍へ贈る慰問袋五個を今十五
日市役所に寄託した

平第四校に
齒科醫囑託
社、國防婦人會等であつて實
施されつゝある事業種類は左
記の通りである

伊藤平新助役
明後十七日着任
平市の初代助役に迎ひられた
縣稅務主事伊藤秀吉氏は都合
上充分家族を同伴せず明後十
七日單身着任の筈で、暫ら
を唱ふるものもあつたが人選

銃後施設
軍事扶助法の大要
また其の外に軍事扶助法の
扶助に對する補充的意味を以
て民間扶助團體の比較的自
なる扶助が廣汎に亘つて行は
れてゐる、軍事扶助團體の重
なるものは帝國軍人後援會、
愛國婦人會、帝國在郷軍人會
恩賜財團濟生會、日本赤十字

一、生活扶助
罹災者に對する臨時生活扶
助、軍事扶助法の扶助前の
生活扶助、同廢止後の生活
扶助、他の扶助を受け得ざ
るものゝ生活扶助等

二、醫療及び助産
居宅入院醫療、實業配給醫
療費の補助、身体支持具の

三、生業扶助
職業輔導授産、職業再教育
小額生業資金の給與、生業
に要する器具の貸與、就職
斡旋等

四、資金融通
恩給等を受くるまでの生活
扶助の融通、低利生業資
金の融通、恩給年金の融通

エビヤ店頭から
鳥打帽を盗む
宮崎縣兒湯郡都農町生れ當時
住所不定無職窃盜前科一犯岡
山雅廣(四七)は昨十四日夜の八
時過ぎ平市三丁目エビヤ洋
品店の店頭から鳥打帽一個價
一圓二十錢を窃取逃走せるを
店員が発見され折柄密行中の
野地巡査に取押へられたが除
罪ある見込みで取調中

小僧のスリ
昨夜平野署から逃げ
出して大騒ぎ
平警察署前通り南町角のバチ
ンコ遊戯場に於て昨十四日夜
八時頃市内南町三一の飲食店
清龜食堂主人が同遊戯に耽つ
てゐる隙に乗じ傍らにゐた十
八、九才の少年が同人の袂か
ら約二圓在中の零口をスツた
ので氣付いた被害者が現場で
引捕へ平署に突出したところ
間もなく同署の隙を見て逃走
せる素早さに大騒ぎとなり横
田、永田の兩部長、菊地刑事
野地巡査等が追跡中病院脇の
物置に隠れてゐたのを逃走後
約四十分で取押へた同少年は
平市五月町プリキ職飯澤達

文魁文堂
電三三三
忠孝便箋
文鳥便箋
名作講義

産業方面

麥作の施肥は斯うする (三)

縣農試松浦生

即ち智利硝石は所謂生理的過量性肥料であつて、土壤の酸度を中和する作用を有してゐる、ところが麥は土壤の反應が中性の時に最も生育に適する作物であるから、この點が麥に對して智利硝石の肥効が優れて來る一因と考へることが出来る、

二、麥の肥料として如何なる肥料が適するか
 窒素肥料は最も大切なものであるから先づ窒素肥料について考へて見よう、大豆粕、魚粕の様な有機質肥料と、硫酸アンモニア、智利硝石(又は硝酸曹達)の様な無機質肥料とを比較すると大体に於て、有機質肥料の肥効は少し劣るのである、之は冬期間は有機質肥料の分解が悪いからであらう、故に麥作に對して高價な有機質肥料を使用することは全然その必要を認めない、但し無機質肥料は速効性であるから至肥料を基肥に施用することは當を得た方法ではない、必ず基肥と追肥とに分けて施用しなければならぬ、

石灰窒素は麥に對しては未だ余り使用されてはゐないが農事試験場でも施用して見たところによると硫酸アンモニアより少し劣るのである、どの程度肥効が劣るかと言ふと年によつて違ふが大體硫酸アンモニアの八割五分から九割五分位の肥効を示してゐる、然し試験は常は所要窒

素の全量を石灰窒素の施用法としては適當でないのである



油問屋 關内油店

支店 支那山市露前通 電話長三二八
 支店 支那山市露前通 電話長三二八
 支店 支那山市露前通 電話長三二八
 支店 支那山市露前通 電話長三二八

特約販賣
 日本株式会社
 モビール油
 石油株式会社

◆一般印刷物も御引受け致します
 印刷部

品名	単位	定価	備考
月カツレツ	一斤
火カツレツ	一斤
水カツレツ	一斤
木カツレツ	一斤
金カツレツ	一斤
土カツレツ	一斤
日カツレツ	一斤

特にマルトモのランチは...
 材料のおまかせを願つて居る為め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来たので御華客様からいつも御好評を蒙つて居ります

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
 平市南町 車場通
 電話 二三三

産科、婦人科専門 根本醫院
 (平市南町) 電話三四四番
 病室入院随時... 根本庄次郎
 増築手術室完備... 根本貞雄

江尻醫院
 門 專 門 性 泌 皮
 性 尿 膚
 病 器 科
 科 科 科
 診療時間 午前八時より午後九時まで
 醫學博士 江尻伊三郎
 平市田町 電話六九一

木村病院
 産科 院長 木村寅次郎
 婦人科 醫學博士 内木宗八
 外科 藥劑師 大岩俊雄
 藥局
 平市新川町九一
 入院随意 病室完備
 電話一八〇番

平看護婦會
 經濟的な御便
 宜御用命をお願ひ致します
 御手不足の御家庭
 軽い御病人の付添
 妊婦産婦の御家庭
 平市南町 電話三〇七

釜屋商店
 和洋鋼鐵、金物問屋
 九・九九電

横山商店
 債券部
 多田井質店
 債券 公債 兩替 金融
 平市大工町 電話五九一

明雲堂眼科醫院
 「看護見習募集」
 平田町(三丁目裏川岸通)
 入院應需(自炊の便あり)

パイロット高級万年筆
 新製品發賣... 獨特の新意匠全透明軸
 平・四・マルトモ・電二三三

日下家政婦會
 便利で 經濟な
 日下家政婦會の
 派遣婦を御利用下さいませ
 身元確かで品行方正ですから
 何をお任せしても安心です
 平市田町十八(西村屋横町)
 會長 日下すい子
 電話七二三番

北川外科
 外科一般 内臓外科
 レントゲン科 泌尿器科
 診察 晝夜
 (血液検査毎日)
 平市新川町二七(電話四六四)
 イツテモ 醫學博士 北川芳夫
 入院デキマス 技師 小林良次